

[報道資料]



平成29年9月30日  
12時00分  
(株)放送衛星システム

## 放送衛星BSAT-4aの打ち上げ成功について

株式会社放送衛星システム(東京都渋谷区: 社長 矢橋 隆)が調達中の放送衛星BSAT-4aを搭載したアリアン5型ロケットは、平成29年9月30日午前6時56分(現地時間29日午後6時56分)、南米仏領ギアナ・クールーにある射場より打ち上げられました。

点火から47分後、BSAT-4aはロケットからの分離に成功し、順調に飛行を続けています。

今後BSAT-4aは、アポジモータを数回に分けて噴射し、10月9日ごろ、遷移軌道から高度3万6000キロメートルの静止軌道に入る予定です。

なお、放送衛星BSAT-4aは、BSAT-3aの後継機として現在放送中のBSデジタル放送を引き継ぐとともに、平成30年12月に開始される4K・8K 放送に対応するための衛星(設計寿命15年以上)で、米国のSSL社で製作されました。

問い合わせ先: (株)放送衛星システム 総合企画室 (03-5453-6521)



## 放送衛星BSAT-4aの打ち上げ成功にあたって

平成29年9月30日  
(株)放送衛星システム  
社長 矢橋 隆

- 本日、放送衛星BSAT-4aが南米仏領ギアナの宇宙センターより打ち上げられ、順調に飛行を続けていることが確認でき、大変よろこばしく思っております。これもひとえに関係各位のご指導、ご協力の賜物と深く感謝しております。
- 今後、本衛星がBS放送に使用できるようになるまでには、種々の段階を経なければなりません。それらが順調に進み、完全な衛星として引き渡しを受け、15年間を超える設計寿命期間中の役割を十分に果たすことを強く望んでおります。
- 本衛星は、BSAT-3a衛星の後継機として現在のBSデジタル放送を引き継ぐと同時に、平成30年12月に開始される4K・8K 放送を支える基盤として、BS放送の新たな進化に向けて中核的な役割を担うものと確信しています。
- 株式会社放送衛星システムは、今後とも日本におけるBS放送のますますの発展に向けて、衛星基幹放送局提供事業者の使命として信頼性の高い安定した放送衛星の確保に努め、皆様のご期待にお応えする所存です。